



最初にお読みください

# CentreCOM® WR540APS リリースノート

この度は、CentreCOM WR540APS をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

## 1 ファームウェアバージョン 2.1.0

## 2 バージョンアップ時のご注意

ファームウェアをバージョンアップする前に、本製品にバックアップコードをインストールしてください。バックアップコードのインストールは、ファームウェアのバージョンアップと同じ手順で行います。

既に、バックアップコードのインストールを行っている場合は、再度インストールする必要はありません。

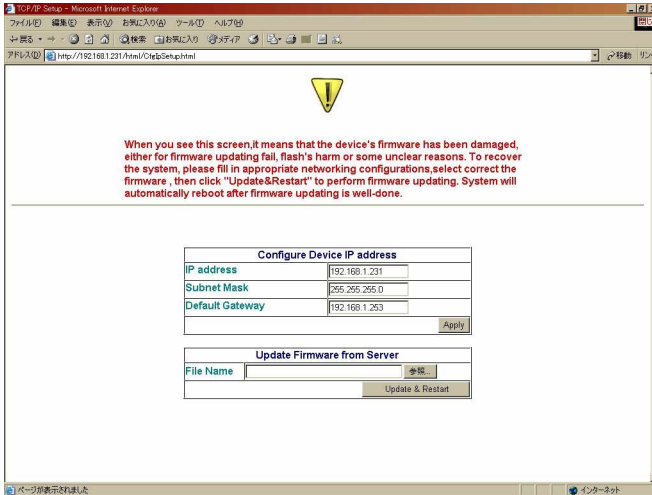


本製品の起動後1分以内に、バックアップコードのインストールおよびファームウェアのバージョンアップを行わないでください。

- 1 弊社ホームページから、本製品のバックアップコードと最新のファームウェアをダウンロードします。
- 2 設定画面のメニューバーで「詳細設定」をクリックし、左側に表示されたメニューから、「ファームウェアの更新」をクリックします。
- 3 「参照 ...」 ボタンをクリックし、バックアップコードを選択してから、「OK」 ボタンをクリックします。バックアップコードのファイル名は、「WR540APS\_V1\_backup\_code\_v101.ftp」です。
- 4 ファームウェア更新の確認ダイアログボックスが表示されたら、「OK」 ボタンをクリックします。バージョンアップコードのインストールが終了したら、本製品を再起動します。
- 5 続けて、ファームウェアを更新します。手順 2 を繰り返します。
- 6 「参照 ...」 ボタンをクリックし、ファームウェアファイルを選択してから、「OK」 ボタンをクリックします。ファームウェアのファイル名は、「WR540APSV210.ftp」です。
- 7 ファームウェア更新の確認ダイアログボックスが表示されたら、「OK」 ボタンをクリックします。バージョンアップコードのインストールが終了したら、本製品を再起動します。

8 ファームウェアバージョンが、「2.1.0」と表示されていることを確認します。

バックアップコード、ファームウェアのバージョンアップの手順は、以上で終了です。ファームウェア更新中に問題が発生すると、次の注意画面が表示されます。この場合は、「参照...」ボタンをクリックし、ファームウェアファイルを選択し、「Update & Restart」ボタンをクリックしてください。



本製品が再起動するまでの間は、絶対に電源を切らないでください。書き込み中に電源を切ると、本製品を再起動できなくなる可能性があります。

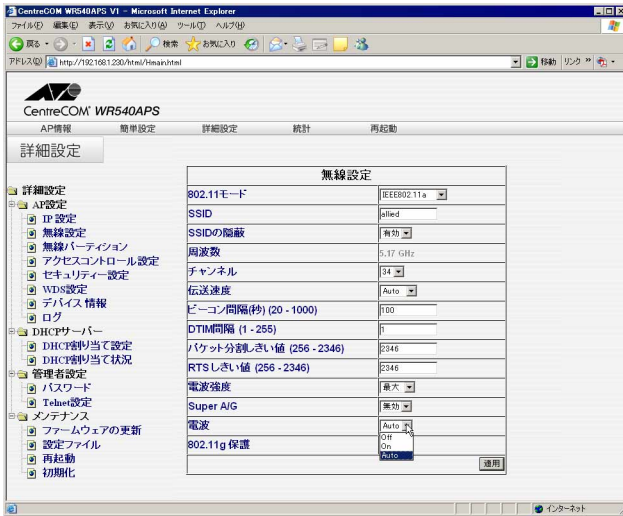
### 3 本バージョンで追加された機能

ファームウェアバージョン 2.0.0 から 2.1.0 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が追加されました。

#### 3.1 リンクリレー機能の有効 / 無効の切り替え

「ユーザーマニュアル」66ページ

リンクリレー機能の有効 / 無効を切り替える設定が追加されました。リンクリレー機能は、WDS 設定で「アクセスポイントモード」を選択した場合に使用することができます。無線設定の「電波」の選択肢に追加された「Auto」を選択すると、有線 LAN 側のリンク状態に合わせて、電波の On/Off が切り替わります（リンクリレー機能が有効）。「電波」の選択肢の「On」または「Off」を選択すると、有線側のリンク状態には関係なく、電波を送信、または停止します（リンクリレー機能が無効）。デフォルトは「Auto」です。

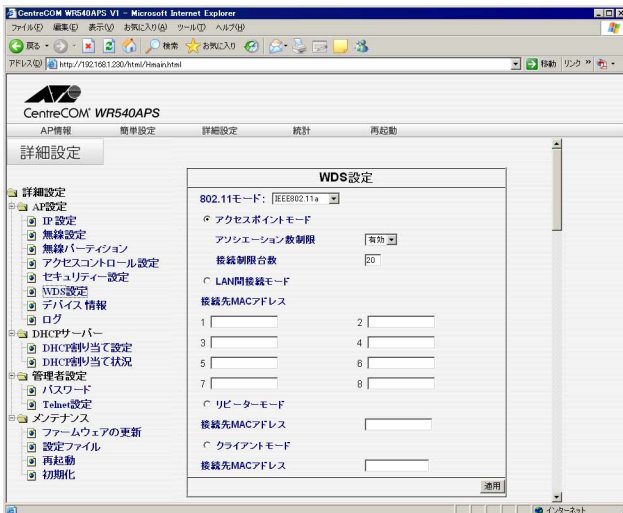


### 3.2 アクセスポイントモードの接続可能な無線端末の台数制限の有効 / 無効の切り替え

**参照** 「ユーザーマニュアル」 77ページ

WDS設定で「アクセスポイントモード」を選択した場合、接続可能な無線端末の台数制限が可能ですが、この機能の有効 / 無効を切り替える設定が追加されました。

WDS設定の「アソシエーション数制限」で有効、または無効を選択すると、台数制限の有効 / 無効が切り替わります。デフォルトは「有効」です。



## 4 本バージョンで修正された項目

---

ファームウェアバージョン 2.0.0 から 2.1.0 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。


- 4.1 有線側のリンクが確立している状態で本製品を起動した場合に、正常に電波が送信されないことがありましたが、これを修正しました。
- 4.2 無線端末の接続台数が制限台数に達していなくても、端末が接続できなくなることがありましたが、これを修正しました。
- 4.3 セキュリティ設定で「認証方式」に「WPA-PSK」を選択するか、または、「認証方式」に「WPA」、「暗号方式」に「TKIP」を選択した状態で、無線パーティションの「802.11a と 802.11b 間の通信」のチェックを外した（通信を許可しない設定にした）場合、暗号キーおよび EAPOL パケットが破棄されてしまうため、無線端末の接続ができなくなることがありましたが、これを修正しました。

## 5 本バージョンでの制限事項

---


ファームウェアバージョン 2.1.0 には、以下の制限事項があります。

### 5.1 RADIUS サーバーの切り替えについて

 **「ユーザーマニュアル」 73, 75 ページ**


認証方式で「IEEE 802.1X」、「WPA」または「WPA2」を選択し、本製品にセカンダリー RADIUS サーバーを設定している場合に、弊社製無線 LAN カード「CentreCOM WR540CB」で「再接続」ボタンをクリックし続けると、プライマリー RADIUS サーバーからセカンダリー RADIUS サーバーに、自動的に切り替わりません。無線 LAN カードが認証待ちの状態の間は、「再接続」ボタンをクリックしないでください。

### 5.2 SSID の設定について

 **「ユーザーマニュアル」 44, 46, 64 ページ**

- 全角文字、全角空白および全角ダブルクォーテーションを入力すると、SSID が正しく表示されなくなる場合があります。SSID には、半角英数字および記号を使用してください。
- 簡単設定で、SSID に半角ダブルクォーテーションを入力できる場合がありますが、SSID には半角ダブルクォーテーションは使用できません。


### 5.3 設定ファイルの読み込みについて

 **「ユーザーマニュアル」 55, 86 ページ**

設定ファイルの読み込みで、「設定ファイル」に入力したファイル名が正しくないと、読み込み確認や読み込み完了のダイアログボックスが表示されず、設定ファイルの読み込みは行われません。読み込む設定ファイルは、「参照...」ボタンをクリックして選択してください。

---


## 5.4 IP 設定について

 [「ユーザーマニュアル」63ページ](#)

- IP 設定で、サブネットマスクおよびゲートウェイアドレスの設定を変更した場合、IP アドレスを変更していないにも関わらず、「変更した IP アドレスで再接続してください」のダイアログボックスが表示され、その後に英語のメッセージも表示されることがありますが、接続し直す必要はありません。
- IP 設定で、サブネットマスクに「255.255.255.256」以上の値を入力した場合、エラー画面が表示されます。設定は無効ですので、Web ブラウザーの更新ボタンをクリックすると、元の表示に戻ります。

---


## 5.5 システム名とドメイン名の設定について

 [「ユーザーマニュアル」78,82 ページ](#)

デバイス情報のシステム名および DHCP サーバー設定のドメイン名に、ダブルクォーテーションを使用すると、正しく表示できなくなる場合があります。

---


## 5.6 ログについて

 [「ユーザーマニュアル」79ページ](#)

- セキュリティ設定で、オープンシステム認証または両方を選択し、WEP 暗号化を有効にして WEP キーを設定した場合、無線端末側に本製品と異なる WEP キーを設定すると認証は成功しませんが、ログ上では正しく動作しているように表示されます。
- 無線端末から本製品に、正しくないユーザー名またはパスワードを使用してログインしようとする、1 度目はログが表示されますが、2 度目にはログが表示されません。
- アクセスコントロール設定で、接続を許可するものとして MAC アドレスが登録されている無線端末で、本製品と接続を行うと syslog サーバーにログが送信されますが、再接続を行った場合にはログが送信されません。
- syslog/SNTP 設定のログレベルで設定したレベルと異なるログが syslog サーバーに送信される場合があります。

---


## 5.7 MAC アドレスフィルタリングの設定について

 [「ユーザーマニュアル」68ページ](#)

256 個を超えて、MAC アドレスを登録しようとしたときに表示されるメッセージに表記の誤りがあります。

---

## 5.8 認証方式の設定について

 [「ユーザーマニュアル」71ページ](#)


認証方式で「両方」を選択した場合、WEP 暗号化は有効に設定されるはずですが、有効にチェックがつかない場合があります。WEP 暗号化の項目は、有効にチェックをつけてください。

## 6 ユーザーマニュアルの補足・誤記訂正

---


同梱の CD-ROM に収録されている (613-000053 Rev.B) ユーザーマニュアルの補足事項です。

### 6.1 認証方式の設定について

 「ユーザーマニュアル」70ページ

本製品の認証方式と、無線端末の認証方式には、同じ方式を設定してください。WPAとWPA2、WPA-PSKとWPA2-PSKの組み合わせで設定することはできませんので、ご注意ください。


### 6.2 アクセスポイントモードの接続可能な無線端末の台数制限について

 「ユーザーマニュアル」77ページ

WDS設定で「アクセスポイントモード」を選択した場合、接続可能な無線端末の台数を制限することができますが、この接続制限台数の説明に誤りがありましたので、訂正してお詫び致します。

- (誤) 接続制限台数を1～20の半角数字で入力します。制限しない場合は0を入力します。  
(正) 接続制限台数を0～20の半角数字で入力します。(0を入力すると、本製品に無線端末を接続することはできません。)

### 6.3 「WPA」または「WPA2」を選択した場合の暗号キーの更新間隔について

 「ユーザーマニュアル」75ページ

認証方式に「WPA」、「WPA2」を選択した場合の、暗号キーの更新間隔の説明に誤りがありましたので、訂正してお詫び致します。

- (誤) 3～9999999の半角数字を入力します。  
(正) 300～9999999の半角数字を入力します。